

パスポートのメインページのコピー
 住民票（直近1週間以内のもの）
 住居に関する書類（アパートの賃貸契約書を持って行きました）
 通帳（安定した資金がはいっているもの）
 イタリアからの入学許可書
 日本の大学からイタリア総領事館にあてた英文ビザ発行依頼書
 両校の間で取り交わされた交換留学協定書のコピー
 滞在の全期間をカバーする医療費の項目が無制限の海外傷害保険の契約書（大学で定められたもの）
 念のために書類のコピーを多めに持って行きました。

・航空券

学校で勧めてもらった STAトラベルさんで航空券はとりました。関西国際空港発、フィンランドヘルシンキ空港経由のミラノマルペンサ空港着の航空券でした。

・携帯電話

大学に説明に来られていた会社のSIMガードを事前におきました。イギリスの電話番号ですがヨーロッパ圏内で使えるものです。今まで使っていたiphoneに差し替えて使えます。

【ミラノ到着後】

・マルペンサ空港からアパートまで

空港に着いたのが夕方、荷物をたくさん持って夜に移動するのは危険だと思ったのでその日は空港近くのホテルに泊まりました。次の日、空港からミラノ市内まで走っているシャトルバスでミラノ中央駅まで移動しました。値段は片道10€です。ミラノ中央駅からアパートまでは荷物が多かったのでタクシーで移動しました。それも10€ほどでした。

・滞在許可証

事前にミラノ大学から滞在許可証に必要な書類がメールで送られて来ました。ミラノ大学のInternational Relations Office (IRO) に11:00に行く約束だったので行きました。行く前に郵便局で必要なKITを買ってきておいて欲しいとのことでしたが、時間がなかったため買わずに直接行きましたがIROが事前に準備をしておいて下さったので買わずにいけました。事前に調べて滞在許可証の申請にたくさんの書類（英文の残高証明証やイタリアの電話番号等）が必要だと知っていたので持って行きましたが私の時は必要ありませんでした。ミラノ大学が用意してくれたKITとTabacchiで買ったmarca da bollo (16€) とパスポートを持って郵便局で申請しました。郵便局とTabacchiは大学の近くにありますが。申請料は102€ほどでした。後日滞在許可証を取りに行く場所と日時が書かれた紙を貰って終わりました。

・大学

ミラノ大学は校舎がいくつかあります。IRO等の事務所があるのはDuomoの近くにある校舎です。私の選択した学部 (Mediazione Linguistica) の授業が行われている校舎は少し離れたSesto San Giovanniというところではあります。

・オリエンテーション

アカデミックアドバイザーの先生からオリエンテーションの場所と日時がメールで送られて来たのでその日に学校に行きました。オリエンテーションの後アカデミックアドバイザーの先生に会い学校のことや授業のことについて色々教えてもらいました。

・イタリア語試験

外国人のためのイタリア語を受講するためにイタリア語のレベル分け試験を受ける必要がありました。メールで案内が送られてくるので自分の都合の良い日時を選択し、指定された場所へ行きました。試験はパソコンを使って行われ、文法、リスニングがありました。

・地下鉄の定期

大学へ通うのに地下鉄を利用するなら定期を作った方がお得だと大学で教えてもらいました。DuomoやLoretoの駅の中のATM pointで作ることができます。定期は1ヶ月ごとにチャージする形で、月初めに買うと月末まで使えます。私がミラノに到着した9月半ばに作ると9月いっぱいの2週間ほどしか使えないということで勿体無いので10月まで待ちました。9月中は毎日券売機で切符を買っていました。10月になりすぐに定期を作りに行きました。私は家から近いLoretoのATM pointで作りました。月初めということもあり、定期を作りに来ている人で駅はごった返していました。定期用の用紙に必要事項を記入し、定期に使う証明写真を持って行きました。作る際にはパスポートの提出が求められます。混んでいたのが待ち時間に約4時間かかりました。なので行く際には事前にアプリで予約していくか、待つ覚悟をしていった方が良いと思います。定期は学生なので少し安く、初期費用を含め32€で作れました。ミラノ市内の地下鉄、バス、トラムで使えるみたいです。

・定期のチャージ

10月の終わりに定期が切れるということでチャージをしました。駅の券売機でもできるみたいですが、駅の中のTabacchiでチャージした方が確実にできるということをイタリア人の友人に教えてもらったのでTabacchiでしました。Tabacchiの店員さんに定期を渡してすぐにチャージすることができました。チャージ料金は22€でした。

・日本語の授業

日本語の授業でお世話になっている先生が上級生の日本語の授業に遊びにおいでと誘ってくださったので授業を受けに行きました。上級生の授業ということもあり、生徒の皆さんは日本語がとても上手で、授業内容も日本人の私から見ても少し難しいくらいでした。授業中に先生が日本人留学生ですと私たちのことを皆さんに紹介して下さいました。授業後沢山のイタリア人の生徒さんが話しかけてくれて嬉しかったです。LINEやInstagram等を交換し仲良くなりました。

・SIMカード

10月の最初の方にイタリアのSIMカードを買いに行きました。外大に留学に来ていたイタリア人の友人が付き添って行ってくれました。Duomoの近くにあるTIMでSIMカードを買いました。毎月チャージして使うタイプです。月に約10€で40G使えるものみたいです。まだチャージの仕方などはあまりよくわかっていませんがこれから学んでいこうと思います。イタリア人の友人が契約の殆どをやってくれました。お店の人は話すのがとても早くあまり理解できなかったのがイタリア人の友人がいてくれて本当に助かりました。

・気候

10月の半ばからは急に気温が下がり寒くなりました。また、雷や雨の降る日が多くなりました。部屋にはエアコンが備え付けてあるのですが、10月はまだ使えないみたいで寝る時など少し寒く感じます。なので私は毛布を買って寒さを凌いでいました。アウトレットのようなお店で安く売っていたので良かったです。これからもっと寒くなるようなので寒さ対策は十分にしておいた方が良さそうです。

・その他

イタリア人や中国人の友達何人かでき、一緒に食堂で昼食を食べたり、お勧めのレストランを覚えてもらったりすることが増えました。イタリア人の友達と話すときはわからない単語が多く、理解に困るときもあります。中国人の友達と話すときは私と同じくらいのイタリア語のレベルなのでお互いに頑張って意思疎通をしています。わからないときは英語を使っています。どの場面でも感じるのですが、もう少ししっかり英語を勉強しておけば良かったと思います。英語は殆どの人が話せるので、勉強していても損はないかと毎日感じています。色んなことをイタリア語や英語で話すことは少しハードですがすごく勉強になっていると感じます。

Ⅲ. 生活編

・滞在許可証

11月7日に滞在許可証の指紋を採取するためにQuestura（警察署）へ行きました。9月に滞在許可証の手続きを郵便局でした際にQuesturaの予約をしてもらえます。その日にQuesturaに行く日時と場所が書かれた紙が貰えるのでその通りに行きます。私は大学の近くのCommissariato Villa San Giovanni Milanoに予約が取ってあったので行きました。警察署に入る際に何しに来たのか少し質問をされましたが、滞在許可証の手続きの予約が来て来たという問題なく通してくれます。滞在許可証はImmigrazioneの部署で手続きを行います。到着後少し待ち、パスポートと予約票を提出しました。その後名前を呼ばれ、中に入って手続きをしました。全ての指、指の側面、手の平の指紋、身長、目の色、携帯の電話番号（イタリアのもの）を登録して終了でした。警察官の方は日本に興味を持っておられる方だったのでとても親切に対応して下さいました。他の方（外国の方）への対応は厳しめだったので、幸運でした。約3週間後に警察署から日時と場所が記載されたメッセージが届き、その時に滞在許可証を受け取る予定です（12月）。滞在許可証がどの段階まで準備されているかは、警察署のサイトからも確認することができます。

<https://questure.poliziadistato.it/stranieri/>（警察署のサイトです）確認をする際にCodice Assicurataの番号が必要になるので事前にメモをして置くなどしておいた方が良いでしょう。手続きに必要なものは、写真2枚、メッセージを受信可能な電話番号、パスポート、予約が記載されている紙です。

・気候

気温が一桁代になる日が多く急に寒くなりました。しっかりと防寒をしなければ外に出るのもきついくらいになりました。部屋でも暖房を付けるようになりました。

・Black Friday

11月の第4金曜日はブラックフライデーでその日から沢山のお店がセールを開始していました。ブラックフライデー前日と当日にDuomoまで行くと人がいつもより多く少し危険だと思いました。警察の人も多かったです。色々なブランドのお店で大幅なセールが行われていたので買い物が好きな人には良いと思います。ですが、いつも以上にスリなどに気をつけた方がいいと思います。

・治安

ミラノは都会ということもあり、何でも揃っています。美味しい日本食のレストランもありますし、日本の調味料や食べ物が売っているスーパーもあります。そういう面では生活しやすいです。しかし、治安面では変な人が他の街よりは多い気がします。ファストフード店でご飯を食べている時に話しかけてきて物を取ろうとする人もいますし、メトロの中でお金をくれと腕を掴んでくる人もいます。そういう人に出会った時には怖がらずにきちんと断ることで少し対策ができることを学びました。Milano Centraleのような大きな駅付近ではデモが頻繁に行われています。とても怖い思いをしたことはまだありませんが、常に気をつけていなければならない気がします。

・Torino

授業のない日に電車でTorinoへ行きました。行きはTrenitaliaで帰りはFrecciarossaを利用しました。Trenitaliaは値段は安いですが、指定席ではないので早く座らなければ席はありません。乗り心地もあまり良くありませんでした。Frecciarossaはすごく綺麗で座席指定もあり快適です。乗車時間も早く早く目的地に着きます。ですが、値段は高いです。

行き：Milano Centrale→Torino Porta Nuova（Trenitaliaで2時間ほどです）

帰り：Torino Porta Nuova→Milano Centrale（Frecciarossaで1時間ほどです）

・Verona

11月の終わりの週末にVeronaへ行きました。ロミオとジュリエットで有名な街です。クリスマスが近づいているのでエルベ広場などの広場ではクリスマスマーケットが開かれていました。Veronaはミラノからも近く、電車で1時間ほどで着きました。行きも帰りもFrecciarossaを利用しました。

行き：Milano Centrale→Verona Porta Nuova（Frecciarossaで1時間ほどでした）

帰り：Verona Porta Nuova→Milano Centrale

・その他

授業後にクラスメートと韓国料理を食べに行きました。仲良くなったクラスメートたちは全員大学1年生で、話していると若いな

と実感することが多いです。日本に興味を持ってきていて、日本語を勉強しているので色々な事を聞いてきてくれます。日本語はまだ話せませんが、イタリア語を勉強している私にとってはイタリア人とイタリア語を話す良い機会になっています。ミラノ大学には日本人生徒がほとんどいません。私と一緒に留学に来た外大の人の二人だけです。なのでこの大学では日本人が珍しく沢山の人が興味を持って話しかけて来てくれます。日本人が本当にいないので少し寂しいと感じる時はありますが、沢山のイタリア人の友達ができるので楽しいです。

月間報告書 12月分

学籍番号： 留学先 ：イタリア ミラノ大学
 氏名 ： 留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日
 年次 ：4年次 留学区分：派遣留学
 クラス ：L02

I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Lingua giapponese I	日本語 I	960	授業
2	Cultura cinese I	中国の文化 I	120	授業

II. 授業内容

No. 1

文法：教科書第10課と第11課をしました。主に場所を表す前置詞やその使い方を教科書の例文を見ながら進んでいきました。

演習：教科書第4課と第7課をしました。リスニングでは時間や値段、電話番号の数字の聞き取りと発音の仕方を教科書やパワーポイントのスライドを使って学びました。

漢字：先月同様小学校の低学年で学ぶ漢字を学びました。

No. 2

中国映画『大唐玄奘』を鑑賞しました。その後作品背景や監督出演俳優について学びました。

III. 生活編

・滞在許可証 (Permesso di soggiorno)

11月に滞在許可証ができたので取りに来てとQuestura（警察署）からメッセージが届きました。以前警察署で登録した携帯の電話番号宛にメッセージが届きます。メッセージには場所と日時が書かれています。私の場合は12月17日の16：24での予約で場所は以前指紋を採取した警察署でした（Commissario Villa San Giovanni）。当日少し余裕をもって16：00頃に到着しました。警察署に入る際に入り口で以下の二点を提出しなければなりませんでした。

- ・パスポート
- ・領収書（郵便局で申請した際にもらえる葉書サイズの紙です）

提出して中に入ると、私と同じように滞在許可証を受け取りに来ている人が沢山いました。順番に名前を呼ばれ中に入って受け取っていきます。ここで予約の時間は関係がないものだと思います。早く着いてパスポートを提出した人から名前が呼ばれます。私は約20分ほど早く着いて待っていたので、予定してた16：24分前後にもらうことができました。まだまだ沢山の人が待っていたので早めに行って良かったと思いました。受け取る際は、両指の人差し指の指紋を機械にかざして問題がなければ受け取ることができます。

受け取る時は自分の名前、有効な日付を確認することをお勧めします。私の場合、名前だけしか確認していませんでした。家に帰

って日付を確認したところ2月7日までが有効となっていました。私は2月11日に帰国を予定し、飛行機もおさえていたのですが、4日ほど有効期限をオーバーしてしまいます。なので飛行機や大学のテストの日程を変更して1月中に帰ることにしました。調べたところ期限が切れてからでも滞在しても問題はないということをホームページに書いている人もいましたが、確かな情報ではなかったのが念のため面倒なことにならないよう帰国を早めることに決めました。

※警察署で中国人の方が滞在許可証の日付が間違っていると何度も抗議していたのですが、警察署の方は残念だけど変更は出来ないとの一点張りでした。なので、日付が間違っているでも変更ができるのかはわかりません。

・ Genova

Genovaへ行きました。ミラノからはTrenitaliaで1時間半ほどで行けます。Genovaではジェノベーゼを食べました。今まで食べたことがなかったので少し感動しました。その後、ジェノバ水族館へ行きました。ジェノバ水族館はイタリアで最大でヨーロッパでも最大級の規模だそうです。日本では見たことのないサメや沢山の魚がいて面白かったです。平日だったので殆どお客さんはおらず貸切状態で快適に回ることができました。週末は人が多いみたいです。その後ジェノバの街を少し散策しました。海岸沿いに位置する街で建物が変わった建て方をしていて感動しました。有名なチンクエッテ (Cinqueterre) に似ている街並みでした。

・ クリスマス

イタリアではクリスマスは家族と過ごすのが一般的なようです。大学の友達や同じアパートの住人は殆ど地元に戻ってしまいました。なので私は部屋でゆっくりと過ごしました。街も静かで家の近くのスーパーやレストランは閉まっていました。なので、クリスマス前には食料など買いだめしておいた方が良いと思います。

・ その他

12月の半ばにクラスメイトの友人の誕生日会に行きました。Kyto2という日本食レストランに行きました。実際は中国人の方がお店をやっておられるので本当の日本食ではなく、食べたことのないようなお寿司が出てきました。カリフォルニアロールのようなお寿司でしたが、とても美味しかったです。友人は日本語を学んでいるので日本に関するプレゼントと手紙を贈りました。日本語で手紙を書きイタリア語の翻訳もしておきました。プレゼントも喜んでくれましたが、手紙をすごく喜んでくれていて、みんなで興味津々に読んでくれている姿をみて私もすごく嬉しかったです。

月間報告書 1月分

学籍番号： 留学先 ：イタリア ミラノ大学
氏名 ： 留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日
年次 ：4年次 留学区分：派遣留学
クラス ：L02

I. 受講時間数

1月の教育編は入力がありません

II. 授業内容

1月の教育編は入力がありません

III. 生活編

【学校編】

・テスト

一月に殆どのテストが行われます。私は初めに登録した三科目のテストを受ける予定でしたが、授業は一年を通して行われるので留学期間が半年間の私は受けることができませんでした。日本語の授業は担当の先生に説明するとテストを受けて良いと言って下さったので受けることにしました。テストは最低でも当日の10日前までに自分で登録しなくてはなりません。登録の仕方は大学からメールで案内が届くのでその通りにするとできました。テスト当日はパスポートや滞在許可証などの身分証明書が必要です。私は日本人なので日本語の授業のテストは簡単で満点を取ることができました。テストは筆記と会話の2日間に分けて行われました。

・成績証明書

外大の単位認定に必要な成績証明書を受け取りに、IROへ行きました。成績証明書を貰いに来たというとすぐに用意してくれました。テストを受けた2日後に行ったのですがすぐに手続きをして貰えました。どの授業のテストか、生年月日など簡単な質問に答えて終わりでした。

・受講証明書

テストを受けられなかった授業の受講証明書を欲しいとIROへ言ったところ担当の先生に頼んでくれと言われていたので頼みました。ミラノ大学のアカデミックアドバイザーの先生に相談したところ、全科目まとめて作っていただきました。念のために日本語の授業だけ別で証明する手紙を書いて下さりました。

・帰国便

テストが終わり、次の週に帰国することにしました。来た時と同様にフィンランド経由の飛行機で帰国しました。来る時にSTAトラベルさんで往復航空券を手配してもらいました。当初予定していた日程より早まったので変更をお願いしました。手数料で6,600円かかりますが、最高で二回まで日程変更が可能だそうです。

FINNAIR:Milan Malpensa Airport 11時25分発 → Helsinki Vantaa Airport 15時30分着

Helsinki Vantaa Airport 17時39分発 → 関西国際空港 10時00分着

【私生活編】

・アウトレット (Serravalle designer outlet)

一月から殆どのお店でセールが開始しました。帰国する日も近づいてきたので家族へのお土産を探しにミラノのアウトレットへ行きました。調べたところMilano Centraleから直通のバスが出ていることがわかりましたが、セールが開始してすぐでバスが満員だと思ったので電車で行くことにしました。

行き：Milano Centrale→Arquata Scrivia (Trenitalia, Regionale) アウトレットまでは専用シャトルバスでした。

帰り：Arquata Scrivia→Milano Centrale (Trenitalia, Regionale)

このアウトレットには、イタリアの有名なブランドPRADAやGUCCI, FENDIなどが入っており、アウトレット価格に加えセールで値引きされていたので普段では買えない値段で買うことができました。

・Pisa

友人とピサへ観光しに行きました。ミラノからはフィレンツェ経由で3時間ほどで行けます。ピサはピサの斜塔以外に興味があるものがなく斜塔に登ってご飯を食べてすぐに帰りました。斜塔へは18ユーロで登ることができました。

・最後の晚餐

ミラノにあるChiesa di Santa Maria delle Grazieで有名なレオナルド・ダ・ヴィンチの最後の晚餐を観てきました。観るには予約が必要で事前にネットで予約しておきました。予約は時間で区切られていてすぐに埋まるので行く方は早めに予約した方が良いでしょうと思います。私はVivaticketというサイトで予約しました。イタリア語と英語での案内しかないので予約出来ているか少し不安でしたが無事に観ることができました。値段は鑑賞料10€と手数料2€を合わせた12€でした。

【まとめ】

月間報告書に書いていない場所へ行ったりしましたが、どこへ行ってもヨーロッパの町並みは素敵だなと感じました。ミラノ大学への留学は前例がなく、1年目で分からないことばかりで苦労しましたが今となってはその苦労もいい思い出になったと思います。日本人留学生がいない中、言語が通じない中の留学でしたが、ミラノ大学では沢山の友人に恵まれイタリア語や英語の語学能力が成長できたのではないかと思います。街も都会で日本食やその他必要なものに困ることなく生活できました。イタリアはもちろん好きですが、ミラノの街は特別好きになりました。